

令和5年度全国開拓代表者大会・全国開拓青年女性研修会・合同大会 開催結果（概要）

令和5年11月16日（木）14時からアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北）において、開拓中央三団体（全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会、全国開拓振興協会）の主催による合同大会を、全国の開拓関係者88名（来賓含む）が参加して開催しました。

○開会宣言

開会に当たり大塚裕太連盟青年部長が開会宣言を行いました。

その中で大塚部長は、戦後開拓者が日本経済の高度成長期に食料供給という社会的使命を念頭に、家族による農業経営を行い、我が国の食生活の維持・発展に大きく貢献してきたことや、今の我が国の生産現場の厳しさに触れ、その上で、今こそ海外の動向に左右されにくい新たな農業づくりの絶好の機会であり、この難局を何としても乗り越え、国と一体となって新たな農業を構築し、次世代の若者が夢を抱いて就農できる環境を作るため、一致団結して闘おうと述べました。



○大会委員長挨拶

次に、菊地文夫大会委員長が主催者を代

表して挨拶し、例年であれば毎年地方で「青年女性研修会」を開催し、3年に一度東京で「全国開拓代表者大会」を開催していたが、新型コロナの影響でここ数年皆が集まることが叶わなかったが、新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類」に移行したことから、今年度は何としても開催したいと考え、この度、合同大会として開催することとしたと述べました。



その後、自由民主党の畜産・酪農対策委員長で衆議院議員の古川康議員による来賓挨拶、来賓紹介、メッセージ披露、情勢報告へと進み、議案審議に移りました。



○議案審議

議長には福岡県の平嶋勝博氏が選任されました。

提出議案は、第1号議案「家族農業経営の推進について」、第2号議案「適正な販売価格の確保について」の2議案で、第1号議案は岩手花平農業協同組合の平組合長が、また第2号議案は開拓ながさき農業協同組合の平木組合長がそれぞれ提案理由を説明しました。

続いて討議に移り、議長が今の窮状について参加者からの意見を求めたところ、岩手県の鈴木稔氏、鹿児島県の牧原保氏、栃木県の齋藤典子氏、同じく保坂充氏から発言がありました。

議長は2議案について一括採決し、満場の拍手により承認されました。



議長は承認された2議案の実現を期すため、決意表明者として、栃木県開拓農協女性会副会長の井上明美氏を指名しました。井上氏の決意表明の後、開拓者の営農と組織の一層の発展を勝ち取るため会場の参加者全員による頑張ろう三唱が行われました。

最後に、西谷悟郎大会副委員長の閉会の辞で大会を閉会しました。



大会終了後、公益社団法人全国開拓振興協会主催の鈴木宣弘教授による「講演会」を挟んで懇親会を開催し、数年ぶりに集まった開拓同志で懇親を深めました。

○要請活動

なお、大会執行部は翌17日（金）に農林水産省を訪れ、我が国農業が将来に向かって持続的に発展を遂げ、次代を担う若者が夢と誇りをもって農業に取り組むことができるよう、今回承認された2議案の実現について鈴木憲和農林水産副大臣に要請を行いました。

